

# 平成26年度第1回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

## 1 日時

平成26年5月1日(木) 午前8時57分から午前11時31分

## 2 場所

青梅市役所 2階 206会議室

## 3 出席者

[出席委員]

榎本晶夫委員長	押切重洋委員	嶋崎雄幸委員
水村美穂子委員	菊池一夫委員	中川般夫委員
奥住尚弘委員	井上忠男委員	増田 擴委員
中村 充委員		

[出席青梅市職員]

竹内青梅市長以下16名

## 4 議事概要

### (1) 市長あいさつ

### (2) 委員長あいさつ

### (3) 報告事項

ア 平成26年度青梅市当初予算の概要について

【財政課長説明】

イ 青梅市行財政改革推進プランの進行管理について

【行政管理課長説明】

ウ 前回委員会での継続案件について

(ア) 墓地公園施設維持管理事務について

【行政管理課長説明】

(イ) 過去に実施した外部評価の検証について

【 ” ” 】

(ウ) 明星大学移転後の敷地の取扱いについて

【企画政策課長説明】

(エ) 市民会館の耐震検査結果と今後の利用の見通しについて

【行政管理課長説明】

(オ) 自治会会長退任時の対応について

【 ” ” 】

エ 病院事業について

【病院事務局長説明】

### (4) その他

次回は7月上旬予定。日程は後日調整することとする。

## 5 主な質疑・意見等

○平成26年度青梅市当初予算の概要について

《質疑》

[Q] 雪害に関する農業用施設の再建は、法令に従ったやむを得ない支出なのか。具体的な取り組みは。今後、同じような被害があった場合は、また税金で負担するのか。

[A] 国の災害復旧事業の中に項目として入っているものであり、特に法令を根拠として予算化したものではありません。農業で生計を立てている方のビニールハウスや鶏舎、それに付随する施設等の再建に係る経費を計上しています。今後も同じような雪が降った場合は、今回と同様の対応がなされるものと考えています。

[Q] 社会保障・税番号制度導入に伴うシステム整備に1億182万円が計上されているが、全体像はどのようなものか。

[A] 26年度は、住民基本台帳に関係するシステム整備費として予算計上しています。27年度以降も予算計上される予定であり、全体の財政規模は未確定ですが、国の施策であるので、ある程度財源的な部分は担保されるものと考えられます。

[Q] 保育所の定員が10名減となっているが、青梅市には待機児童はいないのか。

[A] 青梅市の保育園は、地域によってだいぶ待機状況の差があり、東部地域は待機児が多いですが、成木や沢井では定員割れをしています。今回、小曾木地区で2つの園が統合して、だいぶ人数が減っていますが、逆に、新町西・青梅梨の木・千ヶ瀬保育園については改築を予定しており、改築に伴って定員を増やします。

《意見・要望》

・今後の青梅市の方向として、青梅市総合長期計画の第3のまちづくりの基本方向にある「次世代を担う子どもをみんなで育むまち」の項目に重点的に財源を投入して、青梅市の人口が増えるような施策に取り組んでほしい。

・多摩川沿いの遊歩道を下流へ延長したり、右岸を整備して周回できるようにするなど、観光事業を計画してほしい。

・自治会に加入している人は、自治会費の中で消防費や防災費などを負担している。加盟していない人も平等に負担するように、市として徴収することを検討してほしい。

・自治会からの脱退者が増えている。自治会に加入することのメリット、デメリットを、個人・行政・地域という3つの観点から整理して、市民に知らせてほしい。

・家具転倒防止器具の助成は昨年度も予算が計上されていたが、申請数はあるのだろうか。本当に必要なものなのか、もう一度見直してほしい。

・虐待防止対応マニュアルは、部署ごとに縦割りではなく、高齢者や子どもなど、もっと一体となって支えていける仕組みを作ってもらいたい。

○前回委員会での継続案件について

墓地公園施設維持管理事務について

《意見・要望》

・墓地公園の利用実態、維持修繕・管理費の実態、使用料・管理料の納付状況を調査した

うえで、行革本部会議の指示にもとづき、墓地サービスの対象者、負担のあり方を明確にすることが必要である。

#### 明星大学の移転後の敷地の取扱いについて

##### 《意見・要望》

・固定資産税非課税としてふさわしい実情があるのかどうかについては、厳しく目を光らせてほしい。

#### 市民会館の耐震検査結果と今後の利用の見通しについて

##### 《意見・要望》

・中央図書館に続いて市民会館も無くなってしまうということになると、旧青梅市街地は崩壊してしまうのではないか。

#### ○病院事業について

##### 《質疑》

[Q] 病院収益の中心は診療報酬だと思われるが、請求漏れはあるか。請求漏れがないような努力をしているのか。

[A] 青梅市立総合病院は包括評価請求方式をとっており、行った行為に関わらず金額が決まっているため、その部分については請求漏れはありません。手術については、実際に行った行為、出来高を加算して請求する制度になっていますが、医師が行った行為は全てコンピューター上で指示を出し、そのまま医療計算されるため、請求漏れは基本的には発生しません。

[Q] 市民の利用率が入院で54.9%、外来で53.6%となっていて、他市の市民の利用も多いが、その点について東京都から補助金等で配慮してもらったり、他市に負担を求めるということはあり得るのか。

[A] 東京都の補助金は、公立病院については一律です。また、他市の市民の方の利用が多いからといって他市に負担をしていただく仕組みはありません。ただ、青梅市立総合病院の高度な医療を受けるために来ているため、相対的には金額の高い治療を受けているので、病院にとっても収入になっています。

[Q] 企業債で、金利6.2%のものが残っているが、繰り上げ償還は難しいのか。

[A] 高い金利が残っていますが、国の資金なので、全額繰り上げ償還する場合には一定の補償金が必要であり、現状ではやむを得ない制度となっています。

[Q] 医療機器の購入は、競争入札を行っているか。

[A] 24年度の医療器械の購入については、入札あるいは見積もり合わせ件数が45件、随意契約が3件です。

[Q] ジェネリック医薬品の使用についての考え方を知りたい。

[A] 対応できない部分もありますが、なるべくジェネリックを使用しながら、患者さんの負担を減らしていこうと考えています。青梅市の国民健康保険でも、一定の慢性病

の患者の方に、ジェネリック医薬品に変更すると自己負担が減るという通知をしています。

[Q] 医薬分業した結果、順調に薬剤師の人員削減が進んだのか。

[A] 急性期病院では、薬剤師が病棟で服薬指導をすることなどが求められています。また、医師・看護師・薬剤師など職員が一体となって取り組むことで医療の質を向上させるチーム医療が推奨されています。院外処方、本来、急性期病院で薬剤師が行う業務を優先して行ってもらう趣旨にもとづく対応であり、逆に、薬剤師を病棟に増やす対応をしています。

## ○その他

### 《意見・要望》

- ・高齢者温泉保養施設利用助成券の公印は印影の刷り込みが良いのではないか。公印の押印について、効率化を図ってはどうか。
- ・2月の大雪を経験して挙がってきた問題点、それについての改善点や改善できない点など、まとめを議題として取り上げてほしい。
- ・青梅市社会福祉協議会の実態が市民には分かりにくいので、青梅市が監査・指導するなら、説明してもらいたい。